

プレスリリース

2020年10月26日

一般財団法人日本エネルギー経済研究所

ブルーアンモニアサプライチェーンの実証試験

日本国内で混焼試験を開始

-水素社会・炭素循環型経済に向けての持続可能な道-

1. 9月27日に、一般財団法人日本エネルギー経済研究所（以下、「IEEJ」）及びサウジアラビアン・オイル・カンパニー（以下、「サウジアラムコ」）は、「世界初のブルーアンモニアの輸送が開始される 持続可能な社会に向けての新しい道」として、サウジアラビアで生産したブルーアンモニアを日本に向けて輸送する実証試験について共同プレスリリースを実施いたしました（※1）。このサプライチェーンの実証試験として、本日10月26日より株式会社IHI（以下、「IHI」）がこのブルーアンモニアの一部を2,000kW級ガスタービンの燃料として利用する混焼試験をIHI 横浜事業所（神奈川県横浜市）で開始します（※2）ので、お知らせいたします。

※1 2020年9月27日プレスリリース

「世界初のブルーアンモニアの輸送が開始される持続可能な社会に向けての新しい道」

<https://eneken.ieej.or.jp/data/9134.pdf>

※2 詳細は2020年10月23日IHIプレスリリースをご覧ください

「世界初、カーボンニュートラルな「ブルーアンモニア」を利用する混焼試験を実施」

https://www.ihico.jp/ihico/all_news/2020/resources_energy_environment/1196925_1601.html

2. 日本に今回輸送されたブルーアンモニアは、燃焼時に二酸化炭素を排出しないゼロエミッション電源として、今回の天然ガスとの混焼用のほか、石炭との混焼用、さらには専焼用として使用される予定です。